



## 2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月12日

上場会社名 小倉クラッチ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6408 URL http://www.oguraclutch.co.jp/  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 康宏  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 河内 正美 (TEL) 0277-54-7101  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	20,886	2.9	864	△5.3	923	△5.2	803	26.5
2018年3月期第2四半期	20,293	7.7	913	49.4	974	182.7	635	337.8

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 451百万円(△35.2%) 2018年3月期第2四半期 696百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	536.74	—
2018年3月期第2四半期	424.29	—

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	42,299	17,910	41.5	11,715.00
2018年3月期	42,007	17,638	41.2	11,550.08

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 17,538百万円 2018年3月期 17,291百万円

(注) 1. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2018年3月期期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 2円00銭

2019年3月期(予想) 期末配当金は、現時点では未定とさせていただきます。

## 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	1.3	1,180	△17.0	1,180	△14.1	910	△4.9	607.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	1,553,323株	2018年3月期	1,553,323株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	56,244株	2018年3月期	56,244株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	1,497,079株	2018年3月期2Q	1,497,366株

(注)当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の連結業績予想について)

当社は、2018年6月28日開催の第89回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、2018年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した2019年3月期の連結業績予想は以下のとおりとなります。

- ・ 2019年3月期の連結業績予想
  - 1株当たり当期純利益
  - 通期 60円78銭

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第2四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(追加情報) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や設備投資が引き続き堅調に推移し、企業収益や雇用状況の改善が続く等回復基調が続いています。

米国では消費の拡大や失業率の低下等により景気は着実に回復が続き、欧州においても回復傾向が続いています。中国を含めた新興国においても緩やかな景気の回復が継続していますが、米中間の貿易摩擦の影響や地政学リスクの拡大等により世界経済全体の先行きには不透明感が増えています。

このような状況のもとで、当社グループはグローバル市場で積極的な販売活動を行ってまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、20,886百万円と前年同期と比べ593百万円の増加(前年同期比2.9%増)となりましたが、営業利益はプロダクトミックスの影響等により864百万円と前年同期と比べ48百万円の減少(前年同期比5.3%減)、経常利益は923百万円と前年同期と比べ50百万円の減少(前年同期比5.2%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は固定資産売却益の計上等により803百万円と前年同期と比べ168百万円の増加(前年同期比26.5%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## ① 輸送機器用事業

輸送機器用事業においては、中国子会社の受注増等による増加要因はありましたが、対ドル為替レートが前年同期と比べ円高に転じたこと等により米国における売上高は目減りしました。

その結果、売上高は14,457百万円と前年同期と比べ216百万円の増加(前年同期比1.5%増)となり、セグメント利益は621百万円と前年同期と比べ9百万円の減少(前年同期比1.6%減)となりました。

## ② 一般産業用事業

一般産業用事業においては、昇降・運搬業界向けの販売は減少となりましたが、モーター、変・減速機、O A、金属工作、印刷・製本業界向け等の販売は増加となりました。

その結果、売上高は5,912百万円と前年同期と比べ501百万円の増加(前年同期比9.3%増)となり、セグメント利益は161百万円と前年同期と比べ41百万円の増加(前年同期比34.2%増)となりました。

## ③ その他

その他では、売上高が516百万円と前年同期と比べ124百万円の減少(前年同期比19.4%減)となりました。セグメント利益は50百万円と前年同期と比べ6百万円の減少(前年同期比12.0%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は主に、受取手形及び売掛金の増加等により28,177百万円(前期末比340百万円増)となりました。固定資産は主に、有形固定資産の減少等により14,122百万円(前期末比47百万円減)となりました。その結果、資産合計は42,299百万円(前期末比292百万円増)となりました。

負債につきましては、流動負債は主に、支払手形及び買掛金の増加等により19,400百万円(前期末比554百万円増)となり、固定負債は主に、長期借入金の減少等により4,989百万円(前期末比533百万円減)となりました。その結果、負債合計は24,389百万円(前期末比21百万円増)となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の増加等により17,910百万円(前期末比271百万円増)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,260百万円(前年同期比9百万円増)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益1,080百万円、減価償却費666百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は924百万円(前年同期比212百万円増)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出767百万円、貸付金の実行による支出500百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は533百万円(前年同期比280百万円減)となりました。これは主に借入金の返済によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、2018年5月10日に公表いたしました2019年3月期業績予想に変更ありません。ただし、今後の経営環境を踏まえ、業績予想の修正が必要である場合は、適時に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,757	6,480
受取手形及び売掛金	11,532	12,214
商品及び製品	3,111	2,792
仕掛品	3,603	3,880
原材料及び貯蔵品	2,231	2,183
その他	830	808
貸倒引当金	△230	△182
流動資産合計	27,837	28,177
固定資産		
有形固定資産	11,174	10,690
無形固定資産		
その他	340	344
無形固定資産合計	340	344
投資その他の資産	2,654	3,086
固定資産合計	14,169	14,122
資産合計	42,007	42,299
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,558	9,088
短期借入金	8,260	8,377
未払法人税等	160	179
賞与引当金	340	354
その他	1,525	1,399
流動負債合計	18,846	19,400
固定負債		
長期借入金	3,878	3,425
繰延税金負債	216	200
役員退職慰労引当金	708	732
退職給付に係る負債	95	102
資産除去債務	16	16
その他	605	511
固定負債合計	5,522	4,989
負債合計	24,368	24,389

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,858	1,858
資本剰余金	1,844	1,844
利益剰余金	12,897	13,521
自己株式	△350	△350
株主資本合計	16,251	16,875
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	931	858
為替換算調整勘定	65	△253
退職給付に係る調整累計額	43	59
その他の包括利益累計額合計	1,040	663
非支配株主持分	347	372
純資産合計	17,638	17,910
負債純資産合計	42,007	42,299

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	20,293	20,886
売上原価	16,776	17,372
売上総利益	3,516	3,514
販売費及び一般管理費	2,602	2,649
営業利益	913	864
営業外収益		
受取利息	7	10
受取配当金	21	22
為替差益	48	52
不動産賃貸料	41	41
その他	49	38
営業外収益合計	167	165
営業外費用		
支払利息	78	77
手形売却損	2	2
その他	26	26
営業外費用合計	107	105
経常利益	974	923
特別利益		
固定資産売却益	—	156
特別利益合計	—	156
特別損失		
減損損失	7	—
特別損失合計	7	—
税金等調整前四半期純利益	966	1,080
法人税、住民税及び事業税	293	227
法人税等調整額	15	16
法人税等合計	308	244
四半期純利益	657	835
非支配株主に帰属する四半期純利益	22	32
親会社株主に帰属する四半期純利益	635	803

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	657	835
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	184	△73
為替換算調整勘定	△181	△326
退職給付に係る調整額	35	15
その他の包括利益合計	38	△384
四半期包括利益	696	451
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	688	426
非支配株主に係る四半期包括利益	8	24

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	966	1,080
減価償却費	636	666
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△40	△14
賞与引当金の増減額(△は減少)	50	13
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	48	16
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6	6
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	13	24
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	△3	—
受取利息及び受取配当金	△28	△33
支払利息	78	77
為替差損益(△は益)	△1	33
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△156
減損損失	7	—
売上債権の増減額(△は増加)	△718	△877
たな卸資産の増減額(△は増加)	△151	△98
仕入債務の増減額(△は減少)	513	695
その他	193	79
小計	1,571	1,514
利息及び配当金の受取額	28	31
利息の支払額	△78	△77
法人税等の支払額	△299	△208
法人税等の還付額	28	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,251	1,260
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,576	△1,579
定期預金の払戻による収入	1,571	1,573
有形固定資産の取得による支出	△780	△767
有形固定資産の売却による収入	16	406
投資有価証券の取得による支出	△2	△37
貸付けによる支出	—	△500
貸付金の回収による収入	0	1
その他	57	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△711	△924

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,179	3,530
短期借入金の返済による支出	△3,129	△3,331
長期借入れによる収入	148	125
長期借入金の返済による支出	△752	△576
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△149	△179
非支配株主への配当金の支払額	—	△6
その他	△109	△96
財務活動によるキャッシュ・フロー	△814	△533
現金及び現金同等物に係る換算差額	△79	△84
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△354	△283
現金及び現金同等物の期首残高	6,174	5,142
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,820	4,859

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,241	5,411	19,652	640	20,293
セグメント間の内部売上高 又は振替高	41	2	43	—	43
計	14,282	5,413	19,696	640	20,336
セグメント利益	631	120	751	57	808

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業および一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	751
「その他」の区分の利益	57
内部取引消去	△20
棚卸資産の調整	123
減価償却費の調整	3
全社費用(注)	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	913

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 固定資産の減損損失につきましては、重要性が乏しいため記載を省略しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,457	5,912	20,370	516	20,886
セグメント間の内部売上高 又は振替高	45	3	48	—	48
計	14,503	5,916	20,419	516	20,935
セグメント利益	621	161	782	50	833

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業および一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
 (差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	782
「その他」の区分の利益	50
内部取引消去	16
棚卸資産の調整	16
減価償却費の調整	1
全社費用(注)	△2
四半期連結損益計算書の営業利益	864

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 該当事項はありません。